

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	一般国道345号 <small>あしだに</small> 芦谷拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	新潟県	
起終点	自：新潟県岩船郡山北町芦谷 至：新潟県岩船郡山北町鵜泊	延長	2.7km			
事業概要	一般国道345号は、新潟県新潟市を起点とし、山形県飽海郡遊佐町に至る幹線道路である。芦谷拡幅は、幅員狭小・線形不良の隘路区間および事前通行規制区間の解消など、安全で円滑な交通の確保を目的とした2車線道路である。特に、県立公園である「笹川流れ」への唯一の路線であり、整備による観光振興に期待が寄せられている。また一般国道7号の代替路線としても重要な役割を担っている。					
S61年度事業化	都市計画決定なし	S61年度用地着手	S62年度工事着手			
全体事業費	94億円	事業進捗率	63%	供用済延長	1.02km	
計画交通量	5,600台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	3.0	総費用 (残事業/事業全体)	34/112億円	総便益 (残事業/事業全体)	329/334億円
	(残事業)	9.5	事業費：33/109億円 維持管理費：1.7/2.8億円	走行時間短縮便益：266/271億円 走行経費減少便益：57/57億円 交通事故減少便益：5.7/5.7億円	基準年：平成19年	
感度分析の結果	交通量変動：B/C=10.0 (交通量+10%) B/C= 9.5 (交通量-10%) 事業費変動：B/C= 8.7 (事業費+10%) B/C=10.6 (事業費-10%)					
事業の効果等	I-(2) 物流の効率化の支援……………現道を総重量25t車両が通行可能となる。 II-(3) 地域づくりの支援……………現道の大型車のすれ違い困難区間を解消する。 IV-(1) 道路の防災対策・危機管理の充実……………第2次緊急輸送道路であり、地域の緊急時安全性の確保を支援する。事前通行規制区間および災害危険箇所を解消して安全を確保する。					
関係する地方公共団体等の意見	山北町は、沿線市町村と共に「一般国道345号期成同盟会」を結成し、国・県に対し積極的に要望活動を行っている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成8年に工区内で落石災害あり。現在、警報機を設置し緊急時への対策を行っている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	1.02km が供用済み。未供用区間は1.68km。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	海岸とJR羽越線に挟まれた道路であり、地形の制約により施工に時間を要しているが、関係機関やJRや漁港との協議も整っており、今後の事業促進が見込まれる。					
施設の構造や工法の変更等	平成8年の落石災害箇所を迂回するため、一部トンネル計画に変更を行った。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性や事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当であると判断する。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。